

養成環境下におけるズワイガニ雌ガニの生残、産卵、ふ化に及ぼす水温の影響およびふ化幼生の質の判定の試み

メタデータ	言語: Japanese
	出版者:
	公開日: 2025-04-24
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 森田, 哲男
	メールアドレス:
URL	所属:
	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2014559

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



養成環境下におけるズワイガニ雌ガニの生残、産卵、ふ化に及ぼす水温の影響およびふ化幼生の質の判定の試み
森田哲男

日本海で漁獲されたズワイガニの天然抱卵雌を1～7℃で5ヶ月～2年間養成し、ふ化時期、ふ化幼生数、産卵率、生残率を調査するとともに、幼生の質の判定方法を検討した。その結果、1回目のふ化では生残率や産卵率に差はないが、5℃以上で幼生数が減少した。一方2～3回目の5℃以上でのふ化では水温が高いほど産卵率、生残率、幼生の活力低下が生じ、幼生の小型化やふ化数の減少が顕著となった。また、無給餌条件下6日目までの死亡率や背鰭棘間長が第1齡ゾエアの飼育成績と強い相関があり、幼生の質の判定には有効であることが分かった。

栽培技研, 33(1), 1-8, 2005